

9 . ^{なが}流し^{とめ}留



図中文章(現代語要約)

洪水防止(水防工法)の五ヶ条の一つ。

「流し留」は、柳を根元から切り、その根元へ太縄を結んで、川岸の水当りの激しい箇所へ流し置く工法。太縄は、土居の上へ杭を打って、その杭に結んでおくのである。